

「第2期 菰野町子ども・子育て支援事業計画（素案）」に対する意見公募(パブリックコメント)への方針

○意見提出者数 9名

○意見の概要と町の考え方は以下のとおりです。いただきましたご意見は修正せずに、記載しています。

該当項目	意見の概要	町の考え方
全体	<p>① 和歌山市で実施されている、子育てに悩む人の相談を受けるボランティアの養成講座を実施してほしいです。</p> <p>家庭教育アドバイザー（和歌山）が講師の話虐待しているのと違うか?!と心配する暇があれば、何か手伝おうかというふうに考え方を改めてほしい。(NHK 2/19 (水) あさいチ)</p> <p>孤立感をなくす!!</p> <p>② 大阪市のように、NPO 法人や一般市民からで“ゼロ会議” →虐待ゼロをめざす。</p> <p>地域ぐるみで、まわりの人が話を聞いてあげる“きくでマーク”をつける！大阪では1000人以上。(NHK 2/19 (水) あさいチ)</p> <p>さまざまな悩みを柔軟に受け止める人、対応できる人を養成する講座を開設する。虐待ゼロをめざすためにお願いします。</p>	<p>当町の子育てを担うボランティア団体として、社会福祉協議会において「子育てサポーターにここ」が子育て中の方々を支援するサロンや託児などの活動をしています。</p> <p>ご紹介頂きました子育ての悩みや相談を担う方々を養成する講座につきましては、子育てを家庭だけが担うのではなく、地域全体で子育てを応援する機運の醸成や地域の子育て力を向上させるものであると考えますことから、今後、先進地の状況や当町のニーズ等を把握分析し検討してまいりたいと思います。</p>

該当項目	意見の概要	町の考え方
<p>2 子どもの居場所づくり 放課後児童クラブの運営の支援と環境整備の推進</p>	<p>「保護者主体の地域の運営委員会」方式だけではなく、菰野町が多種多様な設置主体を認めた上で、それぞれの地域、保護者のニーズに合った学童保育所を設立、支援することが行政として必要ではないか。</p> <p>〈参考〉 運営委員会方式の近隣市町の計画案では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営主体の負担の軽減を図る方策の検討を進めるとともに、継続的に巡回訪問を実施して、個々の諸課題の解消に向けた支援に取り組みます。 <p>と、具体的な運営支援策を明記してありますが、菰野町では明記できないでしょうか。</p>	<p>当町の放課後児童クラブの運営につきましては、保護者主体の地域の運営委員会方式にて設立されており、現在も同様に取組まれています。</p> <p>各学童の規模等により運営事務を委託している場合もあり、多種多様な設置主体を認める等、今後の学童の取組みや個々の状況に応じた課題については、個別に相談しながら解決に向けた支援を行いたいと考えています。</p>

該当項目	意見の概要	町の考え方
<p>子どもの居場所づくり</p>	<p>私は現在、6才と8才の男の子を育児中です。</p> <p>菰野町の子育て支援センターは未就学児童対象の施設のため利用することができません。雨の日などは四日市の交流プラザに行き遊んでいます。菰野町でも奨学生、中学生が利用できるような児童館を是非作ってください。</p> <p>それと、図書館を土日に利用すると、勉強している中高生がたくさんいます。机が限られているためか、食事をできるスペースでも勉強している子どもたちがたくさんいて、食事をしようと思っても席が空いていない場合があります。勉強できるスペースをもっと増やしてあげてほしいと同時に、食事ができる場所を他にも作ってほしいです。</p> <p>天気が悪い日や寒い日などは食べる場所がなく困っています。改善、よろしくお願いします。</p>	<p>児童館については、現段階において建設の計画はございません。</p> <p>ハード面だけではなく、運営を含めた検討が必要であり、町の抱える課題のなかでも優先度を図り、持続可能な事業となるためには引き続き検討してまいりたいと思います。</p> <p>図書館の勉強スペースや喫食の場につきましては、図書館の持つ余力の問題もありますことから、今後も検討はしてまいりたいと思います。</p> <p>喫食の場が無い場合には、保健福祉センターけやき2階のロビー等をご活用いただければと存じます。</p>

該当項目	意見の概要	町の考え方
認定こども園の充実について	<p>菰野町内には認定こども園が1カ所しかありません。</p> <p>子どもを認定こども園に入園させたいとかがえていたのですが、難しい状況だと思います。</p> <p>今後、菰野町は認定こども園を増やす方針はあるのでしょうか。出来れば増やしてほしいです。</p>	<p>当町の公立幼稚園と保育園については、保護者の就労状況の変化に対し、転園等が無く園生活が継続できるように、柔軟に対応するため幼保一体化運営を進めています。</p> <p>認定こども園については、民間保育所等に対して、認定こども園に関する情報提供を行い、また、認定こども園への移行を希望する事業者に関しては、助言や指導を行い、認定こども園への円滑な移行への支援に取り組めます。</p>

該当項目	意見の概要	町の考え方
<p>○基本的理念の考え方</p> <p>○配慮が必要な子どもや家庭への支援、医療の充実などに関係していると思いますが、はじめの段階ではどこに位置付けてよいのかわかりません。</p>	<p>この度の公募に気づくのが大変遅れました。1日足らずで記入させていただき、まとまりに欠けますが宜しくお願いいたします。</p> <p>子どもたちの一人ひとりの個性の可能性を尊重し、子どもを主体として考える“子育て”の視点とあり、計画の内容には母子保健・保育・生活・健康などの施策が盛り込まれています。</p> <p>これらには子どもたちの「より豊かな発達の保証」というような意味合いが含まれているように思います。保健・福祉・医療・教育の施策を縦断・横断するうえでプラスしてはどうかと思いました。</p> <p>○医療に療育の視点をプラス</p> <p>救急医療体制に加えて町内で子どもの発達について、発達専門の作業療法士（OT）の方の相談・指導が受けられるとよいと思います。現在、菰野厚生病院には発達OTはみえないと思います。（成人が対象？）</p> <p>重度の障害のお子さんは、県立施設で診ていただくにしても、近い将来、発達的にグレーゾーンのお子さんが療育センターと連携して、地元の厚生病院でも療育が受けられるとよいように思います。</p> <p>まずは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達 OT、PT、ST などリハビリテーションに係る 	<p>頂きましたご意見の、より豊かな発達の保障につきましては、基本理念の三つの方針において、子どもの健やかな成長を育む母子保健の充実や全ての子どもたちの権利を保障する環境整備としての発達支援事業の充実など重点的な取組みを計画しております。保健・福祉・医療・教育の連携を図り、切れ目ない支援に取り組んでまいります。</p> <p>当町では発達支援の取組みの一つとして、町内の幼稚園、保育園等に三重県立子ども心身発達医療センターのOT（作業療法士）やPT（理学療法士）や関連機関のST（言語聴覚士）による巡回相談等を実施しています。</p> <p>子どもの発達に関わる専門的視点からの助言を頂き、日常の園生活の中で取組みが可能な内容について助言を頂いています。</p> <p>子どもの療育に携わる各職種の方々には専門的な研修を受けられた方々となり、病院の持つ機能や</p>

<p>○計画の下記部分に、関係していると思われるが、新たな項目を起こす方がよいのかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり ・子育てしやすい環境整備 ・外出環境の向上 	<p>人材の育成に、町が予算を確保することは出来ないかと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菰野厚生病院の将来構想を考えるうえでも、近隣の町と協同で、子どもの療育に係る設備・体制を整えていくことは、一案だと思えます。 <p>○あそび場の充実を図る</p> <p>体を大きく動かす粗大な遊びは、子どもの発達・脳を育てるうえで重要ですが、社会環境、家庭環境、育児の変化にともない、子どもたちの様子に危機感を感じています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが外で遊びたくなる、魅力ある遊具、公園づくりを願います。ごみ収集日に役立つ公園と化している状況を見直し、小学生、小さなお子さんをつれた親子がいきいきと遊びを楽しめ、高齢者や介護を要する人々が、杖・車いすでものんびり外出を楽しめるとよいと思えます。 ・自然環境がいっぱいの菰野町ですが、危険ということで川遊びを禁じているところが多いです。水は自在に変化し子どもにとってとても魅力的なものです。子どもの身の安全に配慮されたところで、保護者に見守られながら日常的に手足を水につけたり、かけあったり、水中の生き物に触れたりできる場が三滝川や公園内に設けられるといいです。 	<p>分野の違いにより小児のリハビリ支援を行う病院は限られている状況です。</p> <p>近隣との自治体との共同での体制整備については、今後の検討課題として研究してまいりたいと思えます。</p> <p>子どもの健やかな成長については、豊かな体験が不可欠であると思えます。</p> <p>川遊びに関しては、過去に大きな事故もあり、見守りのない状況では危険が伴います。</p> <p>環境整備だけではなく、どのような対応が可能なか、頂いたご意見を基に当町だからこそ可能な内容について研究をすすめてまいります。</p>
---	--	--

<p>○全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のスポーツと呼ばれる枠を超え、ローラースケートやスケートボードなどができる公園、ボルダリングの設置などできるとよいと思います（四日市のスターアイランドの中には、本格的なボルダリング施設があり盛況でした。） ・就学前の子ども、小学生が室内で安心して遊べる場所もあるとよいと思います。低額な料金を払ってでも日常では味わえないトランポリン、エアートランポリン、フラットのトランポリン（床面とおなじもの）などの大型遊具の設置を検討していただければと思います。 <p>自分で物事を考え、行動でき、生きていく力はどうすればついていくのか？大人社会が知らない間に、子どもたちの発達・健康を阻んでいることに気づいていける、適切な環境やはたらきがけがあれば、子どもたちがのびのびと豊かに成長していけるという理解につながる講演会や学習などの機会が町ぐるみで行われるとよいと思います。</p> <p>子どもの遊びや発達は、不登校・いじめ・児童虐待の諸問題とも関係していると感じています。自治体職員、保育・学校関係者ならびに住民が改めて学びあえる機会があるとよいと思います。</p>	<p>子育てを支えるための支援として、各幼稚園において保護者向け講演会の実施に取り組んでいます。</p> <p>子どもを取り巻く環境や、不登校、児童虐待等の課題につきましては、自治体職員や学校関係者、保育に携わる職員、民生委員や住民を対象として、毎年、児童虐待防止月間である 11 月に虐待防止講</p>
------------	---	--

そのうえで、先にあげたような取り組みが、理論的な根拠を持って啓発活動とともに進められることを願っています。

演会を開催しています。今後も、地域全体で子どもと家族を見守り支援していける環境づくりに向けて取組んでまいります。

該当項目	意見の概要	町の考え方
<p>全体</p> <p>第4章 III</p> <p>2 子どもの居場所づくり</p> <p>IV 1 (2) 豊かな心を育む教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読書活動の推進 ・ 菰野町図書館との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続事業ばかりで、子どもたちの未来をみすえた施策とは言えない。子どもにはもっと予算を使うべきだ。 ・ 菰野町には「児童館」がない。学齢期の子どもたちの居場所としての「児童館」が必要。幼稚園児を「子育て支援センター」に連れて行っていたが、上の子が学齢期になると「支援センター」に入れず、下の子だけを連れてはいけず、結局利用できなくなってしまう。「支援センター」に隣接する立地で「児童館」があれば、そんな不条理も解消される。支援センターと児童館の複合施設の開設（または隣接立地）を望む。 ・ すべての学校で朝読ボランティア（図書館ボランティア）を登録での制限を設けずに（現在は一部の学校で、保護者であることや、当該学校の出身者であること等の制約がある）受け入れてほしい。 ・ 町内の小中学校で1名の専任の図書館司書の配置を進めてほしい。それまでは、各校に週1回の菰野町図書館からの司書の派遣を希望する。 	<p>児童館及び複合施設の建設については、現時点において建設方針は決まっています。</p> <p>ハード面の建設だけではなく、その後の運営にかかる費用や他の事業との優先度の検討など、継続可能な事業とするため引き続き検討してまいります。</p> <p>読書ボランティアについては、各学校の要請に応じてお願いをしています。今後については、検討してまいります。</p> <p>子どもたちの読書環境を整えるために、図書館司書の配置を充実させていく等の取組について、検討してまいります。</p>

該当項目	意見の概要	町の考え方
<p>地域ボランティアによる体験、活動事業への働きかけ</p>	<p>菰野町の地域における子どもの育成の現状はスポーツ中心であると思われます。元気アップこものスポーツクラブがあることにより、スポーツ大好きな子ども達はさまざまなスポーツに親しみ、上達の機会があります。</p> <p>では、文化・芸術の体験はどうでしょうか。町主催で子ども達にすぐれた文化、芸術体験（コンサート、演劇、伝統芸能などなど…）が実施されてきたでしょうか。</p> <p>不安を感じる親たちは四日市子ども劇場まで出かけていってます。四日市では文化振興財団が学校も巡回しています。みる機会がないばかりでなく、体験する場もほとんどありません。芸術を習い事としている子もいますが、お金もたくさんかかります。</p> <p>芸術文化協会にはたくさんのすばらしい人がいます。後継者を育てるということでも、力のある人たちが元気アップこもの文化クラブのようなものをつくれませんか。高い月謝を払わなくても気楽に子どもたちの文化的な育ちを支援するのが大人の役目ではないでしょうか。</p> <p>運動は苦手、でも芸術的なものだったらやってみたい子もいるのです。そういう子どもたちが輝ける場を提供できないのでしょうか。放課後子ども教室でやっ</p>	<p>菰野町内小中学生に対しての、芸術文化事業や取り組みについて教育委員会社会教育室から回答します。</p> <p>菰野町教育委員会社会教育室では、毎年、町内小学校4年生児童に対し、アウトリーチ事業を行い、音楽に特化した芸術に触れていただいております。</p> <p>また、伝統芸能については、文化庁の補助金事業「伝統文化親子教室」で礼法、日本舞踊、将棋等10年以上教室が開催され、地域の大人が先生となり取り組んでおります。</p> <p>コンサートにおきましては、子どもの未来を考えるサークル with you と教育課が共催し、ワークショップができるコンサートや乳幼児に対しては人形劇団による公演会を隔年開催しております。 (kogakusyu 翔 太鼓、マリンバ等の体験)</p> <p>芸術文化協会では、18歳未満を対象としてユース会員を募り次世代の育成を図っております。</p> <p>また、芸文協の大人たちに学び、三味線、琴を演奏している子どもたちもいます。</p> <p>スポーツ・文化振興会では、芸文祭に絵画教室を開催したり、また、教育委員会と共催で夏休み親子絵画教室を開催し、トートバッグやTシャツ</p>

てきたというならば、それは体験であって継続性に欠けます。コボンタフェスティバルに参加する以前の支援をお願いしたいのです。すでに大人の中に子どもが混じって活動しているサークルがあるのも知っています(太鼓・三味線など)それを広げてほしいのです。是非、元気アップこもの文化クラブを立ち上げてください。

以下は民話語りこもの菊の子ども体験事業の歩みとこれからです。

民話語りこもの菊は2020年3月8日に、22回民話発表会を開くサークルです。現在はいきいきサロン、小中学校、放課後子ども教室、イベントなど年50～60回の口演をしています。その件で、伝統芸能である民話語りを後世に残すため未来の語りへの育成を考え、子どもに向けて活動を進めてきました。

12年前より朝上小へ朗読(8:25～8:35)に民話語りとして、月1回1学年に語りをする活動を始めました。年11回の活動です。数年後、朝の活動を続けながら民話クラブを作ってほしい希望を伝え、民話クラブができました。

クラブ人数は4～6名でした。1年に1つの民話を覚えてもらい、最後には校内向けに民話の発表会を開

に絵を描く等趣向を凝らし、事業の取り組みをしております。

令和元年度には、小学校体育館を利用して(学校開放)ダンスや歌等の取り組みから、菰野町教育委員会が後援をし、ダンスと歌のユニットグループがCDリリースしております。

各地区公民館では、夏休みの子ども向け講座を開催し、自然体験活動では、赤とんぼのマーキング、そして、木工教室、ポーセラーツ教室、浴衣の着付け教室等夏ならではの体験活動を展開しております。

放課後子ども教室では、地域住民との世代間交流と体験活動を目的とし居場所づくりを展開しております。様々な活動の中から自分の得意なものを探し出せるようにコーディネーターがプログラムを立案しております。

また、地域住民の皆様の「子育て支援、保護者支援」の機運が高まるような講座を平成30年度(年間3回)、令和元年度(年間4回)と子育てマイスター研修会を行いました。

今後も、地域住民の皆様のご協力のもと「地域の子どもは、地域で育てる」を柱とし、人材育成のための講座や研修を含め、いろいろな取り組みを行い、子どもたちを地域を活性化していきたいと

	<p>きました。2年ほど経ってからは、こもの菊の発表会にも希望者に参加してもらうようになりました。</p> <p>数年前（6年）から千種小学校でも、朝の語り、民話クラブを実施しています。</p> <p>今年1月、学校より英語・プログラミング等の時間の確保のためクラブは学校内ですとのお話がありました。来年度のクラブはありません。</p> <p>そこで今、こもの菊は次のような事業を考えています（予定）。夏休みを中心に民話の学校（6～7回）を開き、町内から広く募集し民話語りの体験学習をしてもらう。最後には発表会を開催し、その後希望者には語りを継続できる場を考えています。マイナーな会ですので希望者が集まるかという不安もあります。コボンタフェスティバルも参加したいです。民話語りの全国大会では、子どもの語り部が生き生きと語っています。このような活動に広報、会場の支援をお願いします。元気アップこもの文化クラブの一サークルになりたいです。</p> <p>※学校図書館に司書の配置を希望します。週一からでもいいので始めてください。2名採用で400万でできます。</p> <p>※児童館がほしいです。できることなら子ども館にして高校生くらいまでの人たちが交流できる場が理想</p>	<p>考えております。スポーツも文化も充実し、発展していくようお力添えをよろしくお願いいたします。</p> <p>子どもたちの読書環境を整えるために、図書館司書の配置を充実させていく等の取組について、検討してまいります。</p> <p>児童館につきましては、現時点において建設方針は決まっています。</p>
--	--	---

	<p>です。川越、朝日にもあるのになぜ菰野にはないので しょうか。 いろいろ書きましたが、よろしくお願いします。</p>	
--	--	--

該当項目	意見の概要	町の考え方
全体	<p>一時保育に関して、現状予約がほとんどできない状況です。</p> <p>公立保育園での一時保育の枠を確保するのはもちろんのこと、一時保育専用の施設を設置することを要望します。</p> <p>母親の育児疲れは深刻だと思います。</p> <p>育児疲れを解消するには、少しの間でも一人になる時間が必要です。</p> <p>一時保育を利用し、リフレッシュして子どもと楽しい時間を共有することで、子どももすくすく育ち、未来につながっていくと思います。</p> <p>よろしくお願い致します。</p>	<p>保護者の不定期の就労や冠婚葬祭等の私的理由により子どもを預かる一時預かりは、現在、鶴川原保育園と聖アリア認定こども園で実施しています。</p> <p>一時預かりの実施については、当町においては待機児童が生じており、保育士の確保も課題となっていることから、一時預かりの希望に十分に対応できていない状況となっています。</p> <p>ご提案にある母親の育児疲れ等に対しましても対応できるように保育士確保に努めるとともに、菰野西保育園園舎の改修時に一時保育室の確保を行い、一時保育の質の向上に努めてまいります。</p> <p>また、育児疲れの解消には町外の施設にはなりますが、子育て短期支援（ショートステイ）事業をご利用頂いています。こちらの周知もすすめてまいります。</p>